

令和4年度 第2回 香南市産業振興計画策定委員会【議事録】

日時：令和5年1月30日(月) 13:30～15:40

場所：のいちふれあいセンター2F

出席者：34人(策定委員17人・市職員15人 ※市長含・傍聴者2人)

1.開催目的

令和4年度の進捗及び令和5年度の事業(案)について、また、当計画の変更点について各分野の担当課長及び各部会長より報告、説明を行い、各分野別部会長をはじめ、有識者や産業関係団体の代表者と分野を超えた横断的な議論を交わす。

2.議題

- ① 副委員長の選任
- ② 令和4年度の進捗及び令和5年度の事業(案)について
- ③ 香南市産業振興計画(令和5年度版)の改定について

3.内容

次第に沿って進行

- ・ 副委員長の選任
- ・ 令和4年11月18日から12月22日に開催された各分野別部会の協議内容と総括及び令和5年度の取り組みについて各担当課長より報告。
- ・ 各部会長より補足説明等。
- ・ 上記のことについての意見交換及び策定に向けた動きの確認。

(商工観光課 小林主幹)

お時間になりましたので、ただいまより、令和4年度第2回香南市産業振興計画策定委員会を開催いたします。

本日はご多用のところ、本委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の会は、参考資料3でも添付しておりますが、香南市産業振興計画策定委員会設置条例第6条の規定に基づき、過半数以上の方にご出席いただいておりますので成立いたしますことをご報告いたします。それでは、開会にあたりまして、濱田市長よりご挨拶を申し上げます。

(濱田市長)

本日は令和4年度第2回香南市産業振興計画策定委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。お忙しい時間帯にこのように多くの皆様にお集まりいただきまして、そしてまた、来年度に向けて、非常に大切なこの産業振興計画について、本日はしっかりとご議論をいただきまして、来年度、更に前進していくように努力したいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(商工観光課 小林主幹)

ありがとうございました。

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

まず、本日の流れをご説明いたします。

委員の皆様には事前に資料をお配りさせていただいておりますが、お手元にごございますでしょうか。

また、初めての試みという事で、資料をデータでお渡しさせていただいた方もいらっしゃると思いますが大丈夫でしたでしょうか。

それでは、お手元の次第をご確認ください。

まず、この後、3の議事へと移らせていただきますが、本日の会では、大きく3つの議事を予定しています。1つ目は、「副委員長の選出」ということで、前回の会では、委員長のみを決めさせていただいておりましたが今回の

会で全委員がそろいましたので副委員長の選任を行いたいと思います。

2つ目は「令和4年度の進捗及び令和5年度の事業(案)について」ということで、各分野の担当課長より1部会5分程度でご報告及びご説明をいただき、部会で出た意見の共有や補足説明がある場合は、各部会長より2分程度でご説明をいただきます。

順番等は、次第の裏面に記載がありますとおり、まず、農業、林業、水産業と各分野のご説明をいただき意見交換を行います。以後、休憩を挟みながら、順番に進めて行きたいと思います。

3つ目は、前回の策定委員会で承認を受けましたR5年度版の当計画について、再度改定をいただくためにご議論をいただきたいと考えてございます。

このことにつきましては、皆様に事前にお送りいたしました、「各資料の見方について」という資料に変更点を記載してございますのでご確認をお願い致します。

説明が長くなり申し訳ございませんが、ここからは議事という事で、進行につきましては香南市産業振興計画 策定委員会 赤池委員長にお渡しをさせていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(赤池委員長)

皆さんこんにちは。お忙しいところお時間をいただきありがとうございます。

しっかりと各部会のことについて議論ができるよう進めて参りますのでご協力をよろしく願いいたします。

それでは早速次第に沿って進行させていただきます。

本日の議題は先ほど事務局から説明がありましたとおりになりますが、まずは副委員長の選任について進めていきたいと思っております。

前回は私が委員長にご指名いただきまして就任させていただきました。

昨年 11 月に副市長が就任され今回の会議で皆さん全員がそろったということになります。

参考資料 3 の第 5 条にありますとおり、副委員長の選任を行いたいと思っておりますが、まずは、当委員会の副委員長に立候補される方いらっしゃいますでしょうか。

※ なし

ありがとうございます。

いらっしゃらないようですので事務局案をお願いいたします。

(商工観光課 小林主幹)

事務局案といたしましては、当市副市長の別府委員に副委員長をお願いしたいと考えております。

よろしく願いいたします。

(赤池委員長)

事務局より示されましたことについてお諮りいたします。

賛成の方は、挙手をお願いいたします。

※ 全員挙手 ▷ 了承

ありがとうございます。

それでは、副委員長より一言ごあいさつをお願いいたします。

(別府副委員長)

先ほどご紹介をいただきましたが、昨年 11 月から副市長に選任をいただいております。

少しでも香南市の産業振興計画に資するように頑張っていこうと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(赤池委員長)

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは次に進みたいと思います。

議事の2つ目、「令和4年度の進捗及び令和5年度の事業(案)」について進行させていただきます。

まず、農業分野からご説明をお願い致します。

(農林水産課 小松課長)

農業分野から順番に説明をさせていただきます。

座って説明をさせていただきます。

資料1の1ページ目をお願いします。

左側の数値目標ですけれども、新規就農者数は令和4年度の数値目標10人に対して実績値は11月末の実績で10人ということで目標数値を確保しております。

右側にあります取り組みの総評ですけれども、新型コロナウイルス感染症の影響もありまして、担い手の確保に向けた取り組みにつきましては十分とは言えませんでした、その中でも相談件数は20件となっており、昨年の同時期よりは多くなっております。

また、このような状況下ではありますが、多面組織や中山間地域の組織には、コロナが落ち着いていた時期に現地確認や集落代表者との面談を行いまして、組織の強化に向けての戦略を作成し取り組んでおります。今後の取り組みといたしましては、農業人フェア等にもできる限りの参加をし、担い手の確保に向けて注力をし、引き続き進めていきたいと考えています。

またハード事業ですが、人・農地プランと併せまして、基盤整備を進め、将来の農業を確立していきたいと考えております。

その下にあります戦略の柱についてご説明いたします。

まず、1つ目といたしまして、担い手の確保に向けての取り組みですが、研修事業について、就農準備資金ということで、11月末まででトマトが1名、ニラが1名、合計2名の方が研修を受けております。

2ページ目の4番、新規就農者総合対策事業(経営開始資金)では、ニラが2名、ピーマンが1名の合計3名、その下の5番、農業後継者推進事業では、トルコギキョウ、なす、水晶文旦でそれぞれ1名の方がいらっしゃいます。

また、今年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で相談会等の活動ができておりませんでしたけれども、少し落ち着いていた夏に、アグリコレットで開催されたれんげいこうち主催の相談会への参加をしております、就農希望者が数人でしたがこられております。

続きまして戦略の柱の2つ目の「経営改善・農地維持」に向けた取り組みでございますが、1番の園芸用ハウス整備事業につきましては、11月末で8件、次ページの2番、環境制御技術高度化事業につきましても8件で、台数としては全部で20台。

その下の3番、産地パワーアップ事業につきましては、2件の果樹農家が活用されており、28台の機器を導入しております。

続きまして4ページ目になりますけれども、5番の農産物のブランド化の推進(みかん)につきましては11月末現在で1,975千円となっております。

これにつきましては、国の交付金事業が令和3年度で終了しています。

今年度以降につきましては、民間による6次産業化とそれに対する支援策の強化が課題になっておりまして、目標数値までには届いていないということで、今後検討をしていく必要があると考えております。

6番のニラの販売額につきましては、ニラクラスタープランを令和3年度に更新しまして、JA香美地区の出荷場の機能強化も図っておりますが、実績としては、11月末で982,639千円と目標値を下回っております。この数字はJA系統出荷だけですので、系統外も含めれば、もうちょっと数字が大きくなると思いますが、把握方法が系統出荷ということで、この数字となっております。

その下の7番と8番につきましては、1ページ目の総評でも申しましたとおりでございます。

続きまして5ページの、9番、10番目の有害鳥獣の被害対策と被害防止事業につきましては、駆除の依頼や相談がありましたら柵の設置の防止事業補助金の周知による防除と猟友会等による駆除との両面で有害鳥獣対策を行っていきたくと考えております。

戦略の柱の3番目になりますが、基盤整備・防災への取り組みにつきましてですが、1番、耕作条件改善事業につきましては予定通り進めております。

2番の重油流出防止付燃料タンク整備事業につきましては、申請する方がいない現状で、11月末現在では0となっています。

当事業は重要なことでありますので、タンク転倒によりますリスクと補助事業の周知を今後も図っていききたいと考えております。

続きまして資料2の4ページをお願いします。

現在、ハウスの基準が高くなり、整備事業の要件のハードルが上がっているということで、要件の見直し等検討が必要とのご意見がございました。

次のページの最後になりますけれども、その他についてのご意見ということで、実践型研修ハウスは最長3年間の貸し付けができるんですけども、そのあとの収入が厳しく、離農する就農者に対してのご意見がございまして、ハウスに空きがあれば、期間の延長をすることも検討してみたらどうかとの意見をいただいております。

資料3、新型コロナウイルス感染症等の影響に対する取り組みといたしまして、令和4年度の取り組み状況というのがございますが、農林水産課関係につきましては、1ページ目の農業共済収入保険助成事業費補助金と施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費補助金、2ページ目の農業肥料価格高騰対策事業費補助金、燃油等高騰緊急対策事業費補助金に取り組んでございます。

最後に参考資料1をお願いします。

前回の委員会で出てきた意見として、石丸委員よりいただいたものになりますが、JA高知県果樹女性部加工班が解散することで、みかんバターの加工を株式会社山北みらいに引き継ぐことで、今の加工場と人員の確保に問題があるところを聞いているので、そこはJAさんとも話をしながら、連携して継続的な取り組みを進め、つなげていくように進めていきたいと考えてます。

2つ目に梶原委員より質問をいただきましたが、外販等に興味のある事業者については、商談会やイベント等への出店等も周知しておりますので、今後とも情報発信を行って、各分野で連携をし、新たな販売促進につなげていきたいと考えてございます。

農業分野は以上でございます。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

石丸部会長、部会の様子も含めてご報告をいただければと思います。

(石丸委員)

先ほど小松課長の方からいろいろご報告がありました。

今ちょっと問題になってるのが、うちの加工部門、女性部が高齢化ということで、なかなか人員の確保が難しくなってきた、加工現場で加工ができないような状態になっているということで、高齢化の中で仕方ないということで、そのあとを引き継いで、山北みらいさんの方がやってくれているわけですけども、やはり、今までだったら農協の管轄での加工場の利用ということもありましたが、山北みらいさんについては一般企業でもありますし、なかなか農協の施設を使うのは難しいという部分があります。

そういった意味で、加工については、今後山北みらいさんの方が加工する場所を確保しながら、また、人材も確保しながらやってくれると思いますけれども、それに対して、うちの方も協力をしていながら、加工の方を伸ばしていきたいと思っております。

それと、非常に厳しい話ばかりなんですけれども、ニラなんかは、ある程度、無加温並びに小加温で栽培できる品目ですけども、香南地域においては、非常に温度を要する品目がありまして、シントウ、メロンやスイカ、ピーマンを含めまして、非常に夜温が18度から22、23度ぐらいまで、それが夕方4時ぐらいから翌朝8時ぐらいまで加温をするわけです。

8年前にリッター100円という数字がありました。

皆様ピンとこないでしょうけども、ガソリンが1リットルで170円、使う量が全然違うんです。

皆様のハウスの縁にある重油のタンク、あれが2,000リットルです。あれが5日でなくなります。

100円としてタンク満タンで20万円なんです。それを年間10回入れると200万円なんです。10アール当たり。

それが高くて、8年前に「電気に変えよう」ということで、電気に変えて、かなり効率よく、かなり安くできてきた。ところがここにきて電気代が上がるということで、かなりその部分も追い打ちがかかってきました。そういった意味で、なかなか重油並びに電気を使って加温する栽培農家さんは厳しくなっています。農家についても、生き残りをかけて、何とか経費を出しながら栽培している。部会でも協議、努力をしたいと思います。今後ともご協力よろしくお願ひします。

(赤池委員長)

ありがとうございます。
続きまして、林業分野につきましてお願ひします。

(農林水産課 小松課長)

資料1の6ページになります。
左の数値目標、実績等は間伐面積50haを目標に掲げておりますけども11月末現在では1.12haとなっております。
これにつきましては、7ページの一番上の戦略の柱の森林環境の保全の間伐事業になりますけども、ここで11月末現在、1.12haとなっております。
右の端の今後の取り組みにありますとおり、4年度の下半期では最大38haが予定されておりますが、目標の50haには届かない見込みです。
この数字ですが、間伐の実績値を県の造林補助金の上乗せ補助である市の「緊急間伐総合支援事業費補助金」の申請面積で算定しており、県の造林補助金の申請締め切りの12月末時点で、間伐が途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずに、その森林所有者の森林の間伐が全て完了してから次年度に申請するため、実際はもう少し実施しておりますが、実績には計上されておられません。
よって、その分は次年度の実績となります。
これにつきましては例年のこととなりますので、数値目標を変えずに、来年以降も引き続き取り組んでいこうと考えております。
他の事業ですけども、6ページに戻っていただきまして、まず、戦略の柱の一つ目の森林環境の保全に向けた取り組みですけども、1番の意向調査の実施ですけども、目標数値120haに対しまして11月末時点では0haですけども、今年度は、地籍調査がすでに終わっている夜須町細川地区と地籍調査がまだ行われていない沢谷地区の2ヶ所でやるようにしております。
来年度につきましても同じ細川地区と沢谷地区で実施をしたいと思っております。
また、地下水の水源涵養の関係で、野市町でも間伐事業をしていきたいと思っておりますので、間伐できそうなところを選定して次の調査を実施したいと考えてます。
その下の森林管理制度森林境界明確化委託事業につきまして、11月末は0ですけども、香美森林組合さんと契約を結んでますので、目標面積に達する見込みとなっております。
令和5年度につきましても、夜須町沢谷地区で約40haを実施する予定となっております。
7ページの戦略の柱の二つ目の啓発・普及への取り組みでございますが、まず、木育事業の木育イベントにつきましては、木育指導員の養成講座を1回、ファーストスプーンづくりを2回実施しております。
その下の保幼小中の学習の実施はコロナの影響で数は少ないんですが佐古小学校で実施しています。
その下の香南市の森からの贈り物事業につきましては、11月末で113名の方に贈っています。
一番下の子育て支援センター及び市内の認定こども園等に県産材を活用した木製玩具を贈呈する事業は11月末では0ですけども、12月20日に贈呈を完了しております。
令和5年度は市内小中学校に木製製品を贈呈する予定です。
林業分野は以上です。

(三谷委員)

資料2の6ページからが林業部会の報告になります。
先ほど小松課長からも説明がありましたとおり、後半に色々な仕事を固めていくもので実績としては少ないで

すけど、今のところは順次でき上がっていく予定です。

ただ、やはり林業の方も人手不足で、新しく入ってきてくれた人も、現場でのコミュニケーションが取れなくて、辞めていく人もいたりもするので思ったほどの成果がでないところもあるんですが、そういうことも徐々に改善してやっていくということで頑張っております。

(赤池委員長)

水産業につきましてお願いいたします。

(農林水産課 小松課長)

資料1の8ページになります。

数値目標ですが、令和4年度の数値目標、沿岸漁業総生産額が295百万円に対しまして、11月末実績が183百万円となっており、前年同月比としては86.7%となっています。

10月、11月にシラスが獲れ出すんですけども、その時期に、漁獲量が少なかったことが前年度よりも数値が少ないことに繋がっていると考えております。

続きましては戦略の柱の地産の強化についてになります。

漁業者の生産性の向上ですけれども、漁船導入事業は11月末では0ですけれども、申請がございまして、12月に事業が完了いたしましたので、現在の実績は1件となります。

5年度以降についても2件の申請を予定しておりますので、漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し進めていきたいと考えてます。

9ページの流通販売の強化の高知県漁協手結支所の販売額につきましては、自動真空包装機導入により、取引先からのニーズに対応できるような体制が強化されたほか、漁協担当者の努力により、11月末で目標数字の約9割、前年同月比でいきますと、158.8%と順調に推移をしております。

続きましてシラスの加工の販売額につきましてですが、引き続きの課題となっておりますが、業者数が少なく、目標数値でありますとか実績の数字が出せないというところでありまして、そこについては今後整理していく必要があると考えてます。

10ページの学校給食への納入についてですが、かちりじゃこについては目標数値60回に対し、11月末で55回、シイラは23回の目標に対して11月末の実績で14回であり、計画通りに進んでおります。

最後の戦略の柱ですが、担い手につきましては2名ということで、令和5年度も引き続き漁業就業支援センターとも連携を密にしながら就業支援を実施していきたいと思っております。

続きまして令和5年度の取り組みですけれども、参考資料の2の17ページになります。

ページ下の方に赤丸で新規の事業を示してございますが、水産業教材作成事業というものを新たに起こすようにしております。

これにつきましては、映像等で市内の水産業を紹介する、獲るところから加工して食卓に着くまでを映像で紹介ができるような教材の作成をして、学校の授業で活用してもらうことで市内の水産業の現状を知ってもらい、地元の水産業に愛着を持ってもらうということを目的として作成をする予定です。

なお、先ほども農業部会の時に説明をいたしましたが、資料3に戻りまして、本年度に取り組みました 新型コロナウイルス感染症対策事業で、水産の事業も掲載しておりますのでご確認をお願いします。

水産業分野につきましては以上です。

(中田委員)

去年のイワシシラスの方は、今もそうですが、日によって、また天候によって獲れる海域が、安芸方面であったり高知市の沖ということで、定まらないことがずっと続いております。

普段でしたら獲れる時期でもちょっと少ないねというのが最近ずっと続いておる状況です。

シイラの方に関しましては、前年は年間200トン取れなかったんですが、今年に関しましては370~380トンぐらいあがっています。

資源としては一定の回復をしている状況でございます。

ただし、シイラ以外の漁獲物も最近変動がありまして、取れていたものが取れず、今までなかったものがたくさんあるということで、そこは柔軟に、徐々に対応していく方法というのが今後の課題であります。また、どの分野でもそうですけど、「人材」というのはすごく貴重なところでありました。水産の方として、少しでも地域に貢献できればと考えております。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

ここからは、農業・林業・水産業につきまして、皆さんと分野を超えてご意見、またアドバイスをいただきたいと思えます。

(松村委員)

農業分野で新規就農者が脱落というか辞められるっていうケースがあるというように見たんですけども、大きな農地をちゃんと借りる計画までして、研修もして、次に借りる、その段階で離脱したと思うんですね。やっぱりそこまでして離脱するのは、石丸さんも言われたように、いろいろなこともあるでしょうし、お金の面で大変っていうのはありますけど、そこをやはり、どうフォローしていくかっていうことで、やっぱり何か、寄り添うっていうか、何か方法がないのかなってすごく思います。

農地を貸す側も、借りれないって言って返ってきたら、それをまたどっかに貸さないといけないっていうのが出てくるので、その面でもやっぱり問題なことだと思う。

連絡等、課題をその地域で就農をあきらめないような方策を、いろんな人の意見聞きながら探っていけばいいなと思います。

もう1つですが、水産業分野の教材は良いなと思いました。

私は魚をさばくのが苦手です。インターネットで調べたりとかしてやるんですけど、そういうのが一般の家庭向けでもあったらいいなと思いました。

(農林水産課 小松課長)

1点目ですが、実際、昨年、ロシア・ウクライナの件以降に電気代等、いろいろなものが値上がりをしてますけども、新規就農者の方が研修ハウスから出て、新たに自分のハウスを立てようとした時に、当初計画してたときよりも資材が上がっていて、スペックを落として就農をしようかという話もしていたのですが、それでも高いということもあり、新規投資をしてまで、今後やっていけるのかという不安が本人にもあったようです。

また、土地についてですが、最初予定したところが駄目になって、そこはJAさんや市役所の方でも新たなところも幾つか探してお話をしたんですが、結局お話したところではできないということだったので、今のところ、宙に浮いた状態になっているのが現状です。

(赤池委員長)

2点目の水産業分野の取り組みについて、私も林業で、1年間でどのぐらいの森林面積の間伐等がされるのかわかっていないので、何かそういうことも、子供に向けて発信していくのがあると良いと感じました。

農業もそうですが、すごくいい取り組みだなと私も聞きながら感じたところです。

その他、いかがでしょうか。

(福井委員)

3つお聞きしたいのですが、1つ目は、木製玩具はどこで作られたものでしょうか。

2つ目ですが、みかんバターは継続してもらえるということなんですけど、その筋道がちゃんとできていますか。

最後に、水産の方で、給食にシイラとかちりじゃこを出していますが、KPIが納入回数でありますけど、例えばシイラなんかは、香南給食センターで2回、赤岡吉川のセンターで12回とありますが、給食を作る数の規模が大分違うはずですよ。

ここは回数が実績でいいのでしょうか。収めた量のほうが良いのではないのでしょうか。

それとも回数を重視するのかどうかお聞きしたいです。

(農林水産課 小松課長)

木製玩具についてですが、材料となる木については、玩具の種類により材料も異なることから、全て香南市材というわけではありませんが、間伐や搬出したものからも材料として活用されています。

また、製作については、市内に対応できる企業がないので、お隣の香美市の土佐山田町の業者で作ってもらっています。

香美市も当市の事業と似た事業をしまして、同じところで作成しています。

2点目のみかんバターの件については、石丸委員からもお話がありましたけども、こちらも調整中な部分があります。

3番目の給食の納入回数ですが、以前当市議会でも質問をされたことがありました。

資料を探していますので、また後からご報告をいたします。

(福井委員)

両給食センターで作る給食の量はかなり違うと思われるので、回数だけ上げていく方がいいのかなと感じたところです。

もし、現在の納入回数が香南給食センターと赤岡の給食センターで逆になったら、すごい量が違うわけで、そこら辺はどのような表し方が良いのかなということで質問させていただきました。

(石丸委員)

先ほど福井委員の方からみかんバターについてのご質問がありました。

これについては先ほど僕がご説明させていただきましたように、年間5~6百万の売上げが上がってきたところで、かなり忙しくなって、確保できないというふうな現実になってきました。

採算が合わなくてやめるわけじゃなくて人材確保が難しいということになってきました。

あと、山北みらいさんの方が、あとを継いでくれるという中で加工場がないということで、なかなか新しい加工場の建設は、現時点では採算ベースには乗っていかないのかなというふうにも思っております。

その点につきましては、女性部の加工現場との話し合いもできておるとお思いますのでわかる範囲で構いませんので葛根委員からご説明をお願いします。

(葛根委員)

事前にいただきました資料に目を通させていただきましたし、石丸委員が言われる課題についても認識をしておるところであります。

いろいろと事情があって現在に至るわけですが、従前、JA女性部等が加工をする際に借りておりますのは香我美町の給食センターだったところを借りておまして、そこがJA各支部の全体の加工を行っていたというようなことで、JAの持ち物ではなく、そういったことで、JAが、要は市から借りていた場所ということですので、失礼な言い方かもしれませんが、優先的に使用をさせていただくという趣旨でこれまで活用をさせていただいておりました。

しかしながら、女性部さんも「もうようせん」ということですので、当然私どもも後々を考えていかなければならないと思っておりますが、今言われることについて、なかなか妙案が現在のところない状況です。

今日、事業本部の方に聞きますと、今のところは、期間限定であります、香我美のAコープの2階で加工をやっておられるという報告を受けてます。

ただ、Aコープも残念ながら3月に閉店の方向性というようなことが決まっておりますので、そのあとのことも含めて、どうしていくということを自分なりに考えていかんといかんと思っております。

(石丸委員)

ありがとうございました。

加えて、先ほど松村さんのご質問について少し補足になろうかと思っておりますけれども、小松課長からご説明があったように、農業部会でもサポートハウスで3年研修して、そのあと、自立してレンタルハウスということで、

生産者は夢を抱えてやっていたところ、やはりこの3年間で非常にハウス資材が高騰しました。材質のパイプが輸入関係の部分もありまして非常に高騰しております。ハウス業者に聞きますと、急に上がったと聞いています。部会の中でも、ニラについては、無加温でも良いから、台風にあわない部分もあって、これほど立派なハウスを建てる必要はないんじゃないかというご意見もでてきました。そういった意味で、今、上を見ればきりがありません。素晴らしいものがあります。そうするとやっぱり10アール当たり3,000万円ぐらいかかります。そこを何とか、最低限のコストで建てれば、建てられないこともないですけども、やはり上を見れば、良いものは良いですし、まして、今風速40メートルとか50メートルに耐えられるハウスというか強化ハウスになりますけれども、やはりこれも3,000万円から4,000万円かかります。今の若い方はそちらを希望するというのが現実です。その中で、この3年間、サポートハウスで研修して、実績を上げて、なかなか3,000万、4,000万円のハウスを建てるという目安といいますか、現実、精査したところで難しいという判断の中で、農家を諦めざるえないというようなことになってきています。多分、ハウス建設の中で下がる要素が現状ありません。これからは、レンタルハウスを新しく建てるのではなくて、サポートハウスで研修した後、空いた中古のハウスで何年か研修をしながら売上げを上げていって、おっきい立派なハウスを建てるとか、そのようなことしか多分、これから考えられないんじゃないかなというふうに思っております。農業部会でも言わせてもらいましたが、今現在、ここ1年ぐらいハウスが空いていた時期もあったので、研修期間を3年とするのではなく、その空いてるハウスは市としても収入があったほうが良いので、3年という期間ではなく、空いていれば、もう1年研修をさせてあげてもいいのではないかという話をいたしました。枠を広げる意味で方向性もちょっと考えていかないといけないかなと思っております。空いてる期間があったので、入るという要件をちょっと勘案して、常に埋まっている状態にすることも必要ではないか。また、中古のハウスでもなかなか厳しいです。ハウスがあっても、農家の人って家の前に建てると、別の人に来て、庭先をちょろちょろされるのは嫌ということもある。ハウスが離れていれば別に問題なく貸してくれるケースもあるが、地主さんとの交渉もなかなか難しい部分があるので、今後、市としても、そういうふうなハウスがあればあっせんしていって、せつかく農業に魅力を感じてやってくれている人のためにも、また、後継者を作っていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

(農林水産課 小松課長)

先ほど福井委員からいただいた数字の件ですが、ちょっと古い数字になりますが、令和3年度のかちりじやこの実績は、香南給食センターで47回、赤岡給食センターで26回、合計73回納入されました。数量は、香南給食センターが604キロ、赤岡の給食センターが38.2キロで合計642.2キロの実績になります。

(葛根委員)

資料1の5ページの下段の取り組みに実施主体がJAとなります重油流出防止付燃料タンク整備事業がございまして、この件で報告させていただきます。先ほど石丸委員よりハウスの縁にある2000リットルのタンクの話がありましたが、そのタンクになります。これは転倒時の流出防止付燃料タンクの整備、あるいは、ヒートポンプへの変更の実施という内容の事業でありまして、11月末では0ヶ所ということになっておりますが、この件につきまして、1月末をもちまして、7ヶ所進んでおります。市のご尽力、発信力等もあったというようなことで0という数値であります。現在をもって申込みがあるということをご報告させていただきます。

(赤池委員長)

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。
農林水産業についていかがでしょうか。よろしいですか。
それでは、ここで少し換気も兼ねまして、一旦休憩を取らせていただきます。

※ 休 憩

(赤池委員長)

再開をさせていただきます。
早速ですが商業部会についてご説明お願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

着座にて説明をさせていただきます。
資料が少しいったりきたりしますが適宜資料の確認の方を恐れ入りますがよろしくお願ひします。
資料1の11ページをご覧ください。第2期の商業分野の数値目標といたしましては、商業者数と新規事務系企業数を設定しています。
まず、1つ目の目標値である商業者数は、年度末をもって集計及び公表が行われるため、11月末時点の評価は示しておりません。
新規事務系企業数1件につきましては、ヤフー株式会社が高知センターを香南市へ移転されたことによる実績となっております。
次に、各事業の進捗状況についてご説明いたします。
まず、戦略の柱である空き店舗活用に向けた取り組みの1.商店街等振興計画の策定につきましては、7月に協議会の立ち上げを行った後、地域の事業者様にも多大なご協力をいただきながら、計5回のワークショップ、計3回の協議会を経て、11月29日に計画を策定いたしました。計画に基づく取組としてアクションプランも作成しておりますが、具体的な実行体制の確立が課題となっている状況ですので、来年度以降、計画に盛り込んだ取組を実行に移していけるような体制づくりから、まずは取り組んでまいります。
次に、12ページの4.空き店舗等対策事業については、昨年4月1日付けにて要綱の改正を行い、補助上限額及び補助率等の拡充を行っております。実績としましては、昨年度より相談のあった方による活用が1件ございました。
5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致については、県と連携した誘致活動を展開し、移転を検討されていたヤフー高知センターの誘致に繋がっております。
一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、誘致活動が以前のように円滑に進められない部分があるほか、テレワークの推進等による新たなワークスタイルの確立に伴い、オフィスの開設自体を見送る企業も出てきている状況です。今後も、状況に応じた誘致活動を継続するとともに、立地された企業の支援を積極的に行ってまいります。
戦略の柱である担い手確保に向けた取り組みの1.事業承継の推進については、これまで、市としての取組としましては、HPや広報を通じた発信にとどまっておりますが、今年度より、部会委員に就任いただいている事業承継・引継ぎ支援センターの横山様からのご助言もあり、事業承継に関するセミナーを来月13日に開催する運びとなっております。
本セミナーを足がかりとして、まずは事業者の方々のニーズ把握等に繋がっていけばと考えております。
続いて、13ページをご覧ください。
2-1. 未来人材育成奨学金助成事業につきましては、11月末までの認定実績は1件となっております。今年度は、工業分野の事業所を中心に周知に努めましたが、利用実績が少なかつたため、来年度以降は、他の分野でも周知活動を行い、より多くの事業所の方に認知してもらうよう努めてまいります。
14ページをご覧ください。
戦略の柱である商業支援の2.各種セミナーの開催については、10月及び11月に、商工会主催にてイン

ボイス関連のセミナーを開催しており、計 18 事業者の方の参加がありました。今後も、ニーズ等に合わせたセミナーの開催を検討してまいります。

最後、15 ページの住宅リフォーム推進事業(香南市住宅リフォーム補助金)については、昨年度までは住宅分野の中で取り組んできた事業になりますが、住宅部会の解体に伴いまして、市内事業者の売上増に繋がる取組となっていることから、商業分野へと移行されてきたものになります。

実績としましては、11 月時点において、76 件分の実績報告が完了しており、事業業費ベースでみると、一年間で 1 億 1 千万円を超える見込みとなっております。

本事業については、2 年毎に事業継続の見直しを行うこととしていますが、利用率の高い事業となっており、市内経済にも寄与していることから、次年度以降も継続予定となっております。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に係る支援策についてご報告いたします。

資料 3 の 3 ページをお願いいたします。

まず、商工業者相談窓口事業ですが、4 月から 6 月にかけて、計 12 回に渡り、専門家を配置した相談窓口を商工会内に開設し、延べ 52 事業者の相談対応を実施いたしました。

第 2 期 香南市営業時間短縮要請協力金につきましては、令和 4 年 2 月 12 日～3 月 6 日の期間に出されておりました時短要請に応じて営業時間の短縮又は休業の対応をしてくださった事業者の方に対して、県の協力金に上乘せという形で、支給したものになります。

続いて、4 ページになりますが、香南市事業者支援給付金につきましては、14 件のみの利用件数となっております。

同時期に申請受付を行っていた、国及び県の給付金を受給していない方を対象としておりましたが、要件を満たす事業者が少なかったものと考えております。

香南市原油価格等高騰対策給付金は、令和 4 年 1 月から 9 月のいずれかの月の燃料費、電気料またはガス代が、令和 2 年または令和 3 年同月の同経費と比較して 10%以上増加している市内で事業を営む方に対して、法人に 10 万円、個人に 5 万円を給付するもので、当初の申請期間を延長し、2 月 28 日まで申請受付を行っております。

次に、令和 5 年度の取り組みについてですが、参考資料 2 の 18 ページをご覧ください。

空き店舗活用に向けた取組としましては、中心市街地活性化計画が策定されましたので、その実行推進、また支援策の創設を新たに行っていくとともに、空き店舗の情報発信ができる仕組み作り、空き店舗補助金の活用推進等を進めてまいります。

担い手の確保に向けた取組につきましては、事業承継の部分で、来月開催するセミナーをまずは第一歩として、ニーズ把握等に努めていくほか、支援制度の創設についても検討していきます。

また、奨学金返還助成事業や創業に係る支援制度等について、今後も周知を図っていきます。

商業支援につきましては、今年度より拡充を行っている保証料補給金制度や今年度新設した企業魅力発信動画制作支援事業の認知度の向上を図っていくとともに市内事業者の売上増に繋がる取組として、地場産品販売促進事業、住宅リフォーム推進事業にも、引き続き取り組んでまいります。

以上で商業部会の説明を終わります。

(福井委員)

12 月に部会が開きまして、いろいろお話し合いをしまして、事業承継に困っているというお話もありそういうセミナーも開いていただくようになりました。

また、委員の中からデジタル化について進めていくべきということで、産業振興計画内にデジタル部会のような組織があってもいいんじゃないかというご意見もありました。

空き店舗活用についても、中心市街地の取り組みですが、産業振興計画とは別に協議会があって、ワークショップ等を行って、たくさんの方が参加していただき、意見を出し合って、こんなことしたらいいんじゃないかなっていう意見はそれぞれの班で出てるんですが、では、実際誰がそれをするのっていうところでみんな二の足を踏むというか、僕がやりますからっていうのがなかなかない状況。

対象エリアが野市町の西野にまずは限られているということもあって、誰か手を挙げてくれる人が居たら助かるんですけど、来年度、何か少しでもそこが進んでいければ嬉しいなと思って、そちらにも参加しています。

(赤池委員長)

続きまして工業部会につきましてご説明お願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

工業部会に行く前に、商業分野においての追加説明をさせていただきたいと思います。

参考資料1の2ページ目をお願い致します。

前回の委員会で國常委員よりご質問がありましたチャレンジショップ等についてですが、先ほど福井委員からもご説明ありました中心市街地活性化計画の策定の中で、地域事業者の方々にも多く参加していただき、様々なご意見やご提案をいただき取り組む内容の検討を行っているところでございますが、その中で、現時点では、チャレンジショップの創設というところには至らなかった部分がございます。よろしく申し上げます。

それでは工業分野の方について説明いたします。

取り組みを説明させていただきますが、その前に令和2年度と令和3年度の実績値に追記と、修正についてご報告をさせていただきます。資料2の24ページをお願いいたします。

まず、令和3年度の製造品出荷額の実績値につきまして、前回の策定委員会ではですね、3年の統計結果が報告、公表されてなかったことから、実績値を入れておりませんでした。令和3年の経済センサスが効果公表されましたことから、実績値を380億円、達成評価をAと追記させていただいております。

また、新規雇用者数の実績値につきましては、株式会社ミットヨ様の新規雇用者数が誤っていたことから、令和2年度の実績値を20から21へ修正し、令和3年度の実績値を23から29に修正をさせていただいておりますのでご報告をさせていただきます。

それでは令和4年度の取り組み状況についてご説明いたします。

資料1の16ページをお願い致します。

第二期の工業分野の数値目標といたしましては製造品出荷額と新規雇用者数としております。

まず、製造品出荷額400億円の目標につきましては、令和4年実績の統計調査結果が、まだ公表されてないことから11月末現在の評価示しておりません。

また、新規雇用者数は4月1日現在の人数に加え、11月末現在で6人の雇用があり、合計10分の新規雇用となっております。

次に各施策の進捗状況についてご説明をさせていただきます。

戦略の柱であります、企業用地の促進の1、新規工業団地整備事業につきましては、候補地となる香美町下分地区の造成基本設計をもとに、県との共同開発に関する協定締結を予定しておりましたが、同地区で一体的な計画で進めておりました宅地造成事業の中止により、工業団地のみを実施するという事は、進入路や排水等の問題で関係者からの同意を得られることが非常に難しいとされたため、中止となっております。なお、事業の中止に当たりましては、5月から6月にかけて、地権者や関係機関の説明、関係者に対する説明会を開催し、中止の説明を行っております。

現在のところ、新たな候補地を選定し、工業団地を整備する予定はありませんが、企業誘致を新たな雇用を創出し、経済の活性化にも繋がることから、引き続き産業用地となる、いわゆる遊休地や工場跡地、空き工場の把握に努め、県との情報共有も行いながら、企業立地の促進に向けた取り組みを進めて参りたいと考えております。

企業立地促進事業費補助金につきましては、補助金申請の2社ともに新工場が完成し、操業を開始したところでございますが、補助金の要件となる新規雇用数が予定人数に達していないため交付に至っておりません。

8月には(株)ミットヨが新工場を竣工し、11月の創業に向けて企業説明会・面接会を開催いたしました。引き続き、企業の雇用状況に合わせて、企業説明会、面接会を開催し、多くの地元雇用につなげていきたいと考えております。

もう1つの戦略の柱であります既存企業の育成支援ですが、商談会開催事業につきまして、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、商談会の中止やオンライン商談への変更がございましたが、今年度はほぼ予定どおり開催され、11月末現在では4回の開催のうち市内事業者18件の商談実績となっております。

今後も市内事業者の積極的な商談会への参加を促し、受注の拡大と販路拡大につなげていきたいと考えております。

また、昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ってございました、ものづくり教育推進事業につきましては、昨年市内の小学校4年生から6年生を対象に8月でございますが、3社の企業の工場見学ツアーを開催いたしております。

当日は19人の小学生に参加いただき、ものづくりの魅力を感じ取っていただけたものではないかと思っております。

今後も両事業を継続し、ものづくりの企業の認知度向上と次世代の担い手確保に繋がる取り組みを進めて参ります。

なお、その他の各種支援事業につきましては、目標値に届いていない事業も多いことから、引き続き企業訪問や、企業交流会等により、事業の周知を行い、利用件数の増加を図っていきたくと考えております。

続きまして、令和5年度の取り組みになりますが、参考資料2の19ページをお願いいたします。

戦略の柱となります、企業誘致の促進につきまして、令和4年度まで、ものづくり基盤整備事業として、新規工業団地整備事業が挙げておりましたが、事業の中止に伴い、令和5年度は事業の方を削除しております。既存企業の育成支援の取り組みにつきましては、令和4年度から事業を継続して取り組んで参りますが、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業につきましては、工業分野以外でも補助、助成対象となることから、令和5年度は、他分野と連携し、より効果的な周知を行うことで、両件数の増加を図りたいと考えております。また、ものづくり教育事業につきましては、今年度の開催が半日で3社を回るという非常にタイトなスケジュールであったことが課題として挙げられておったため、時間配分を見直すとともに、より多くの子供たちに参加していただけるように、対象年齢の拡大や体験学習を取り入れて、基盤の検討をして参りたいと考えております。

また、数値目標は定めておりませんが、令和4年度から行っております企業魅力発信動画制作支援事業費補助金も継続事業として行う予定です。

当事業は、自社のPR動画作成にかかる費用の一部を助成するものであり、動画活用による販路の拡大や人材確保、社内のデジタル化促進にも繋がるものと考えております。

以上となります。

(黒原委員)

令和4年度の取り組みについて、ものづくりの教育推進事業で工場見学等をさせて頂きましたが、今後、少しでも多くの方に知ってもらえるように参加者の年齢層の拡大も含めて検討していただき、実施していただきたいという意見がございました。

また、令和5年度の取り組みについて、工業用地については、今のところ未定となっておりますが、民間の休有地等ニーズがあればご紹介いただきたいということをお話しております。

また、工業分野で人材の確保の方が難しくなってきたという意見が出ております。

従業員を確保しやすいための施策を何かしらしていただきたいとお話もあり、外国人実習生の受入れが工業分野でも多くなってきたという話もありました。

研修生の受け入れで問題となっているのが「住宅環境を整える」ということが課題となってきましたので、そちらも支援があればお願いしたい。

これは工業分野もそうですが、他分野でも同じように実習生のことについて考えなければいけない時期に来ているのではないかと思います。

すでに、対応をされてるところ分野も多くあるかもしれませんが、工業分野でも今、実際に人材確保には苦労しているという意見がありました。

以上でございます。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

工業分野、商業分野ともに「誘致」というのが一つの大きなキーワードになっているかと思います。

このあたりについて、明石委員どうでしょうか。

首都圏を含む企業の動向等について、コメントをいただければと思います。

(明石委員)

前回の策定委員会でもお話をさせていただいたように、何かしら地域の中での特色みたいなのが1つでもあった方がいんじゃないかっていうところです。

話変わりますが、香南市では、首都圏企業を誘致される場合、補助金等もありますが、やっぱり最初はコスト的なところで、社内の業務、外注した業務を社内内製化する、業務を高知県で、高知県内でやるというところでのコストメリットはもちろんあるんですけど、中長期的には何かスタートアップとか、ベンチャー企業等と我々は繋がっているの、市内のこの農業・林業・水産業を、または、観光とか商業とかもですね、そういった「ここにある店舗」とか生産者の方と何か連携して「新しいモデル」をマッチングしながら作るよとかですね、そういうのを一つ特色にしていければいいなというのは考えておりました。

事業承継のお話も先ほどありましたが、事業承継に関しては、都内では、スタートアップとして大学生と何か事業所と新しい取り組みができないかなとも感じている。

例えば、一ツ橋大学の学生が、最近、国立の、東京都のちょっと郊外のスナックを買収して、女性が新しくその地域の憩いの場として改修されたとか、なかなか面白い取り組みというのがあるので、そのような単純にコストメリットだけではない形を香南市さんの中で作っていくことが必要と考えます。

企業との連携とか、オープンイノベーションっていうものが流行ってるので、地域で何かそういった取り組みが出来れば面白い。

弊社もご縁があれば一緒に進めていけたらと思っております。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

高知大学も企業さんと一緒にやっぱイノベーションの拠点みたいなところというのは非常にニーズがあって、特に高知県は先進県と言われるように、おもしろそうなネタっていうのは確かにたくさんあるんだけど、それをキックオフせずに進めるといいますか、最初の、スタートアップの「場所」であったり、「繋がり」の話っていうのは、現在高知大学では特に医学部を中心にかなり議論してるんですけど、なかなかそのところ、場所と人っていうのが難しいということは大学という位置付けでもかなり強く感じてる場所です。

(明石委員)

面白い人が地域にこれだけいるよとかスタートアップの「人」と連携して、何か地域間プロジェクトでまず話し合ってみようとか、そういうのを発信していけば香南市は面白い地域なんだねというようなことで、なにか1つだけでも発信していくのが大きいかなと思いました。

(國常委員)

私は自宅サロンで、産前・産後の主に女性向けに整体や体のケアっていうのをさせてもらっていて、私もゆくゆくは店舗を使っていきたいなっていう気持ちがあるんですけども、それにあたって、私もたまに空き店舗情報っていうのをインターネットで検索してみているんですけど、やっぱりなかなかこう、ずっと同じ物件しか出てなくて、新しいのがないなっていうふうになって、なんでだろうなって思っていたので、今回資料を見させていただいて、なかなかまだ共有ができてないっていうところがあったので、そうなんだと一つ理解できました。また、資料1の12ページの空き店舗バンク事業の今後の取り組みっていうところで、「事務系企業の誘致事業において保存している空き店舗及び物件情報を共有し、市HP等で情報共有を行うとともに、四半期に一回程度の更新を目指す。」というところがあるんですけども、これがよくわからなくて、事務系企業を誘致するための空き店舗情報はあるけど、誘致をするためにそこは公開せず、どこにも貸さずに置いておいてあるっていう認識なんですか。

(赤池委員長)

資料1の12ページのところの空き店舗等の活用の部部で、事務系企業の誘致というところで、規模感等に

ついて、どのぐらいの規模のこの空き店舗等の物件調査、これも大小様々なんでしょうか。

(商工観光課 浜田課長)

現在、HPの方で紹介をさせていただいてるんですが、実際民間企業さん、住宅関連の業者さんが持っているものを、うちの方でも確認させていただいて、そういった対象になりうる物件について、許可をいただいているところを載せさせていただいてる状況です。

現時点では物件件数もまだまだ少なく、日々更新もできてない状況もあります。

市の状況といたしましては、事業者さんからの物件情報で、良い物件といたしますか、そういったところはすぐに次の借り手が見つかる傾向にありまして、私たちの知らないところといたしますか、マッチングがすでにできてるという部分が多い状況です。

なので、掲載されている物件については長期間掲載されている物件であるケースがあります。

(小笠原委員)

工業分野で、ものづくりの教育推進事業がありましたけれども、市内の小学生を対象として市内の工場見学をバスツアーで行われたということで、弊社の職員も何人かお邪魔をさせていただき、大変勉強になりました。それとともに、面白い企業、香南市にしかない企業というのがあるんだということを思っておりまして、企業の皆さんがこういった活動に賛同を今後もしていただければいいなというふうに思っています。

弊社もお仕事体験博事業というものを行っており、来月には四国銀行さんにもお世話になって、四国銀行さんのお仕事体験をするというのをお願いをしているんですけども、県内外の子供たちに高知県内の、特に香南市・南国市・香美市の3市の仕事っていうのを見ていただいて、最終的には、将来ここに住んでいただけるような、このエリアのすばらしさを語ってもらえるような子供たちが増えたらいいなということで行っています。

希望としましては、一般の観光客や香南市外の子供たちにこういったことをさせていただけたらと思うんですけども、もしそれがうまくやっていけるようになりましたら、企業の皆さんにお願いしたいのが「無料」でなくて、ぜひ「有料」で体験や工場見学をやっていただければと思います。

お断りといいますか、会社のこと考えられて、「無料で良い」と言ってくださるんですけども、無料なことが良いことではなくて、しっかりお金を取って、それでも参加したくなるような事業っていうことを、プライドを持ってやっていっていただくことでシビックプライド(市民の誇り)も高めていけるんじゃないかと思っておりますので、このものづくりの教育を推進して、どんどん行っていただいて、観光の方でも協力をさせていただけたらと思っておりますのでよろしくお願ひします。

また、先ほど水産業のところ、教育関係の資料作成の話も出ましたけれども、そういった小中学校の方向けの冊子も作られるようでしたら、今後香南市外の子供たちにも見ていただけるようにしてなと思っております。

(商工観光課 浜田課長)

ありがとうございます。

昨年、ものづくり教育推進事業ということで3社を工場見学して、小中学生を対象に、市内のものづくり体験という現場を見ていただいて、次世代の子供たちに市内にはこういう会社があるんだよというようなところを様々見ていただくといったような形で実施いたしました。

非常に各企業の皆様には丁寧な説明等も行っていただいて、本日までご出席いただいているYAMAKIN株式会社さんにもご協力をいただけて行えた事業になります。

引き続きという声も先ほどよりいただいておりますので、また次のステップといたしますか、工業部会等の方でもお話をする等して、そういった教育等も含めて、一般向けも含めたツアー、どちらかという、そういったこと等も可能性としてはあるのかなと個人的には思いますので、企業様側の意見交換をさせていただきながら協議をしていければと思っております。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

商業分野の中で、事業承継について取り組まれるということですが、この点につきまして、水田委員に、香南市内の現状をお伺いできればと思います。

また、アドバイスやコメントもいただければと思います。

(水田委員)

金融機関としては、数年前から非常に重要なところであるという認識のもと、引き継ぎ支援センターさんと連携しながら取り組んでいます。

市の方で2月にセミナーをやっていただけたとのことでありがたい。

イメージでいくと香南市は小規模の個人事業主の方が多く、そのあたりに情報を共有しながら、対応をさせていただいているという状況です。

まだ、全てを網羅できてるわけではないので、継続して取り組んでいかないといけないと感じています。

(吉川委員)

私どもも支援してるのは、大体が小規模事業者になります。

先ほど言われたように、家族内の承継が結構ございまして、そのニーズがどこにあるかと言いましたら、やはり税理士さんに相談したいと。

いかに安く承継する、贈与税に対応できるか。そこが一番興味を持たれるみたいです。

それと事業所がどういう手順で承継したら良いか。そこがなかなかわからない状況でらしいです。

先だって、あるところで承継をしましたが、その方も含めて、「いつ承継をするのか」が定まっていないう方が多い状況。

廃業します、そして承継者が立ち上げますという流れの中で、税務署に出す廃業届等の対応にいつから準備をしなければならないというリストを作成し渡しました。

それから、うちの方で専門家を派遣させていただいて、どういう承継をしたら一番いいのかという相談を税理士として、そこの事業所はもう間もなく承継をするような形になっています。

一方、法人の場合は、株式、株価がありまして、株価によって、承継されますので、ここはなかなか事業承継センターさんに入っていただくようなところでございます。

ちなみに法人で事業承継をするのであれば税理士さんに頼んだら1割ぐらい、資本金の1割ぐらい費用が掛かるという話をいただいておりますので、法人さんの場合はちょっとしんどいなというところがあります。

現状はそのようなところでございまして、個人事業主の承継をしている部分が現状です。

また、商工会としても、事業承継の研修会やりますということで通知をいたしますが、なかなか参加をされない傾向にあります。

やはり、デリケートな部分もあり、個別相談でこうした検討というところを個別で相談しているのが現状でございます。

以上です。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

各部会の中で、商業分野からは『デジタル化の話』、工業分野からは『外国人実習生』の話が出ていたかと思えます。

これをすぐにとということではないと思いますが、会社の産業を支えていくときに、この2部会でということなのか、1つのテーマという形なのか、これについては事務局の方で、今後この産業振興計画の中にどういった形で入れていくのかご検討いただきたいと思います。

それでは観光部会に移ります。

ご説明お願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

資料1の19ページをお願いいたします。

数値目標といたしましては観光施設の入り込み客数を設定しており、令和4年度の数値目標といたしまして114万人を掲げ、これに寄与する各事業に取り組んで参りました。

11月末現在の実績値が94.8万人で、達成率は83%、前年同月比では107%となっております。

本年度につきましては新型コロナウイルス感染症の影響や現在の第8波の影響もあり、目標値に達成するのが厳しい、難しい状況ではありますが、行動制限のない連休や年末年始、国の全国旅行支援事業等もあり、昨年に比べると観光入り込み客数は回復している状況となっております。

次に各事業の進捗状況でございますが資料1の20ページをお願いいたします。

戦略の柱にある、香南市観光の発信について、香南市のPRの強化では、香南市観光協会のHPとGuidoor、多言語観光サイトのアクセス件数を指標としております。

昨年同時期よりも、閲覧数が約3万件増加をしております。

要因といたしましては、香南市観光協会のHPをリニューアルし、スマートフォン対応やタブレット端末でもレイアウトが崩れることなく閲覧できるようにデザインも一新し公開したことや、特集として専用ページに、香南いいこキャンペーン事業内容やイベント等内容を分かりやすく掲載したこと等があげられます。

また、継続して香南市のイベント情報等を香南市観光施設連絡会の皆さんから収集し、HPへ掲載していることや、よさこいネット、(一社)物部川DMO協議会、(株)四国銀行の行員向けへのPR情報誌や高知銀行よさこいおきゃく支店のHP、高知新聞企業が運営する「ココハレ」、こじゃんと、ミリカ、ほっとこうち等にも継続して情報提供していること等が考えられます。

次に、22ページをお願いします。戦略の柱観光の育成に向けた取り組みの1.物部川エリア観光連携事業につきましてご説明いたします。こちらは南国市・香美市・香南市の9施設の入込客数を指標としており、目標値85.5万人に対して11月末時点の実績値は50.6万人となっております。こちらにつきましても、昨年同時期よりも入込客数が約13万人増加しています。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成するのは難しい見込みです。

本年度の取り組みとしましては、22ページの表中に示しています、①から⑤の5つの項目ごとに観光協会やDMO協議会、高知県と香南市が連携して取り組みを実施しております。

③の観光客の広域誘致では、ワーケーションの誘致活動をDMO協議会が主体となり、ヤ・シィパーク等をフィールドとして東京の企業の方々を誘致し、実際に執務いただきながら、マリンスポーツの実施や地元団体と意見交換を行う等、市の魅力を感じていただきました。

今後も引き続きワーケーションの可能性を探ってきています。

また、JR観光列車「時代(とき)の夜明けのものがたり」では、高知駅から奈半利駅の区間を4月から6月、10月から12月の間、毎週金曜日に往復しており、毎回多くの県外客が乗車され、車窓からは香南市の風景を堪能いただくと同時に、物部川DMO協議会や香南市観光協会、市職員が香我美駅と夜須駅間を自転車と並走しながらお出迎えをするおもてなしを行ってきました。

停車駅である夜須駅、ヤ・シィパークでは、観光やお買い物を楽しんでいただき、周辺自治体の観光パンフレットや高知の銘菓を配るサービスを実施しました。

次に、24ページをお願いします。

戦略の柱 受入体制の強化の2.外国人観光客受入研修の実施をお願いします。

当事業につきましては、観光庁が公募する訪日外国人旅行者周遊促進事業の採択を受け、今年2回の研修が決定しています。

9月20日に1回目の英語初級の研修を開催し、21人、11事業者の参加をいただきました。

12月6日開催の2回目は、英語中級のほか、中国語初級の研修も行い、高知県がターゲットとする、台湾・香港からの来訪者に対応できる研修を行っています。

なお、簡単に使える翻訳アプリVoice Traの活用方法等も指導を受けたので、実際に事業所ごとに活用し、インバウンド需要の回復に向けて受入体制の整備を行ってまいります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に係る支援策についてご報告いたします。

資料3「新型コロナウイルス感染症に対する取組について」をご覧ください。

5 ページをお願いいたします。

香南市内の観光施設の入館料や宿泊施設の宿泊費を、1,000 円を上限に半額助成をする香南いこいこキャンペーンを昨年 4 月 29 日から令和 5 年 1 月 31 日まで実施しています。

現状では、国の全国旅行支援等と併応して利用される方が多く、年末年始の利用も多くあったことから引き続き、誘客に取り組んでまいります。

次に、令和 5 年度の取り組みについて、参考資料 2 の 20 ページをお願いします。

香南市観光の発信では、新たな取り組みとして、連続テレビ小説『らんまん』に合わせた周遊花めぐりバスの運行を計画しています。

ヤ・シィパーク有料駐車場を利用し、周遊バスで香我美町の西川花祭りやかがみ花フェスタチューリップまつり等を周り、香南市の花イベントを楽しんでいただきたいと思いますと考えています。

現状、駐車場問題で悩んでいるイベント会場を周遊バスで巡ることで安心して楽しんでいただくこととお土産購入等の誘客を目的としています。

観光の育成に向けた取り組みでは、スポーツツーリズムの推進、1.サイクリングイベントの開催として、好評であった香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを継続して開催する予定です。

今後も、自転車のまち香南市を PR できるよう取り組んでまいります。

また、令和 5 年度も市内の観光需要のさらなる回復を目指して、関係機関と連携して香南市への誘客を行っていきたいと考えております。

以上で観光部会の説明を終わります。

(梶原委員)

年末に観光部会開きまして、委員の皆さんとお話をさせていただきました。

現時点ではコロナウイルス感染症の 5 類に向けた話も出てますが、年末時点で第 8 波の影響と言いますか、まだ広がっていない状況だったと記憶しています。

行動制限もない中で、春以降様々な事業が行われ、昨年、一昨年と比べると順調に伸びているというお話を聞いております。

感染者数も現状、少しずつ減ってきている状況ではあり、また、春から連続テレビ小説「らんまん」は始まることから、高知県内でも誘客が進むイベント等が始まります。また、先ほど課長の方からご説明いただきましたが、花まつり関係や動物公園、アクトランドさんではらんまんに合わせてイベントを開催されるようになっていると聞いております。

また DX 化、デジタル化では様々なお話を伺いましたが、香南市に観光だけ来られる方って本当に少ないと思いますので、高知市・南国市等の公共交通の要所から香南市へどのように人が流れてくるかっていう取り組みなんかも図りながら、いろんな事業に展開をしていきたいなと思っております。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

それでは、意見交換に移ります。

皆さんからご意見いただければと思います。

どなたからでも結構です。

(森尾委員)

SNS 等の投稿や情報発信にも力を入れているところなんですけれども、やはり、旬のものをいかにスムーズにわかりやすく伝えるかっていうところも工夫しながらやっています。

HP がリニューアルしまして、スマートフォンでも画面が非常に見やすくなったことも、皆様からのアクセス増加の基準といいますか、いい画面構成になったのかなというふうに思っています。

また、行動制限がなくなったゴールデンウィーク等のお客様の、人の動きというのが、目に見てわかるような感じもしましたので、そういったときに検索をして、香南市の新しい情報がわかりやすく、旬なものがきちんと検索して出てくるようなことに工夫をしてやっております。

また、春からはらんまんが始まるということで、西川花公園ですとか岸本のチューリップフェスタ等も開催され

ますので、専用ページを作って、お客様にわかりやすく、開花状況等もお伝えしながら、香南市を素通りするだけではなく、長く滞在をしていただき、また、おいしいものを食べたり、買い物もしていただき帰っていただけるような流れを作っていきたいなど考え、取り組んでいます。
以上です。

(小笠原委員)

弊社が取り組んでいますものの中に「教育旅行」と「ワーケーション」、それから「外国人観光客」という大きなものがあるのですが、教育旅行に関しましては市内のダンボール業者さんが防災のためのダンボールベッド等を作られておまして、それが今、商談の場では大変注目を浴びています。

ダンボールベッド等で子供たちが一晩体験をして、防災食等も食べてというような学習プログラムが大変注目を浴びているのですが、ちょっと悩みどころとしまして、ダンボールベッドが非常に場所をとることから並べるところがなくて、市内の体育館等にもご依頼等してみたんですが、なかなか教育旅行になると商業目的ということになるということで対応は難しいということで、商工会さんにもご紹介を依頼させていただいているところでございます。

そういった場所の問題なんかもありますので、今後香南市さん等にも相談をさせていただきながら進めたいところです。

また、ワーケーションを今年度初めて行って見ました。都会の方がお仕事を、バランスを兼ねて、離れたところに来て、オンラインで仕事をするというものなんですけれども、やはり香南市と言えば海かなと思まして、ヤ・シィパークを中心にしましてワーケーションの体験をしていただきました。大変好評です。

ワーケーション、仕事をする時に何が重要かと言えば Wi-Fi 環境というものがあるんですけれども、今はポケット Wi-Fi 等もありまして、そういったこと等は簡単にクリアができるようになっております。

ヤ・シィパークで仕事をし、海辺の果樹園に泊る。これだけで非日常を味わえたということで大変好評でした。また、香南市が海でしたら、香美市では山の体験をしていただいて、べふ狭の満点の星空の下で、1 晩 2 晩過ごすというようなワークというのも大変喜ばれております。

今後、香南エリアでは、特にヤ・シィパーク等は、飛行機で降りて、レンタカーを借りて 30 分後にはもう仕事ができるといっても良い立地条件であるということが評価を得ておりますので、また次年度も引き続き事業を進めていきたいのですが、やはりこちらも受け入れですね。

ヤ・シィパークは今回ご協力していただいたんですが、やはり、常時ワークスペースとして貸し出せるかどうかといったような部分の話もありますし、その他でいきますと、夜須町に一棟貸しの施設、お宿等で体験してみたんですが、やはり高額になってしまうという課題もありますので、このあたりを今後どのように解決していくのかというところです。

空き家じゃないですが、お家を貸してくれるようなところを、今後どう増やしていくかなというところを課題と考えております。

インバウンドに関しましては、秋に始まる、春には始まるというのでどンドンずれ込んできておりますけれども、来月、2 月下旬には台湾での商談会等も開催されることになっておりまして、弊社からも担当が行くようになっております。

台湾の方は、3 月ぐらいまでに高知県への直行便がくる計画はあったらしく、塩の道を 60 名ぐらいの団体が歩きたいということで、観光協会さん等にもご相談をさせていただいて、進めていたんですが、こちらについても今回は無くなってしまいました。

ただ、引き続き、「塩の道を歩く」ということ等にはすごく興味を持っていただきましたので、次の商談に繋がるものができてきていると思っております。

今後の見通しでこれまでと変わる部分として、外国人の客船は今も戻ってきていますが、これまで来ていたような、団体で、中国や台湾から来ていたのはちょっと減ってくるだろうなど。

個人客が主になってくるのではないかと感じておりまして、国自体もそのように、目標値が変わってくるだろうと予測しているようですので、個人客に対してこれからどれだけ対応ができるようになるのかというのが課題だと考えております。

(赤池委員長)

それでは議題の2については皆さんご確認いただいたということで終了とさせていただきます。

最後に、議事3「香南市産業振興計画（令和5年度版）の改定について」に移りたいと思います。

参考資料2と「資料の見方」をご確認ください。

先ほど各分野からご説明いただきました「令和5年度事業(案)」について、参考資料2の14ページから部分が更新されています。

お手元「各資料の見方について」の資料で再度ご確認をいただければと思います。

改定のポイントにつきましてはこの資料に基づいて、各課長よりご説明いただいたところです。

それでは、この内容について、更新をお認めいただける方は、大変恐縮ですが挙手をお願いいたします。

※ 全員挙手 ▶ 了承

ありがとうございました。

今お認めいただきましたのでこれが最新版ということになりますのでまた皆さん、変更点も含めて、お目通しをいただければと思います。

それでは本日の議事その他というところで何かございますでしょうか。

(三浦委員)

委員長よりご発言がありましたけども外国人労働者の関係なんですけども、工業だけではなくて農業分野でもすでに入られて、おいでになると思います。

直ちにこの計画の中身をどうだということではなくて、今後一つの産業を支える担い手として、非常に難しいかと思いますが、そういったところも頭の中に入れて、今後どうしていくのかというのをご検討いただければという意見ということで受けとめてできればと思います。ありがとうございます。

それでは、進行を終わらせていただき、事務局にお返しいたします。どうもありがとうございました。

(商工観光課 小林主幹)

ありがとうございました。

先ほど、ご承認いただきました、産業振興計画の令和5年度版に関して、素案についてお示しをさせていただいておりますが、次年度の予算等は当市議会の3月議会で確定いたしますことから、記載されてる内容は「案」ということでご理解をいただき、確定しましたら、令和5年4月1日付けで更新をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

本日は、赤池委員長はじめ、皆様に長時間にわたり熱心にご議論いただきありがとうございました。

数々の課題、今後検討していくことにつきましても本日ご意見をいただきました。

このことは、関係いたします計画及び関係課とも協議させていただきながら、今後の施策に活かさせていただきたいと思っております。

最後に2点お伝えいたします。

参考資料4をご覧ください。

来年度のスケジュール案を掲載させていただいてございます。

来年度の予定ですけども、本日のような策定委員会を現在5月29日に行えないかなというところで調整を行わせていただいております。

また近くなりましたらご連絡をさせていただきたいと思っておりますので、ぜひご参加いただき、忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。

もう1つは、本日お話もありましたが、2月13日に事業承継セミナーというものを開催してみようと思っております。

吉川委員の方からもお話がありましたとおり、やはりデリケートな問題で、セミナーのように集まって相談をす

るという方は正直少ないのかなというふうには考えてございますが、将来のことであり、しかし、10年後というのはあっという間に来たりもしますので、そういったことでぜひ周りにいらっしゃる方に周知いただけますと幸いです。

また、承継する側とされる側が居ますが、受ける方として、例えば学生の方とか、そういった方にも、素地として知っていただきたいと考えています。

当事者だけではなく、ぜひ起業等を検討されている方にもお声がけをお願い致します。

長くなって恐縮ですが、閉会にあたりまして別府副市長より一言いただきたいと思っております。

(別府副市長 / 副委員長)

皆さん、大変お疲れ様でございます。

本当に今日は長時間にわたり、熱心にご議論をいただきましてありがとうございます。

自分もこの前まで県におりまして、県の産業振興計画の観光分野で関わりを持っておりました。

観光部会の方でもいろいろアドバイスをいただいていたところで、また、この場でご一緒させていただけるということで非常に感慨深い状況でございます。

本当に香南市につきましては非常に産業振興計画に熱心に取り組んでいるんじゃないかと思っております。ただ、近年、新型コロナウイルスとか、或いは農業等の燃料の高騰等、非常に逆風が増えておりました、産業振興計画を進めていくには非常に厳しい状況でございます。

香南市の活性化といいますか、発展させていくには、産業振興計画をしっかりと進めていくことが必要と思っております。

本日も色々ご意見をいただき、農業分野では新規就農者の課題、工業分野ははじめとする外国人の労働力の確保の問題、それからデジタル化の課題等、いろいろ課題がございます。

しっかりと本日ご出席いただいております委員の皆さん、現場で各事業を進めておられます事業者の皆さん、そして市役所のメンバーで、官民連携でしっかりと進めていきたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

以上